

2026年度 事業計画書

(2026年4月1日～2027年3月31日)

当財団は1979年の設立以来、社会と文化に関する国際的、学際的な研究の発展と有能な人材の育成を目的に事業活動を行ってきた。2010年の公益財団法人移行に際しこれら事業を「学芸文化振興事業」と「地域文化振興事業」の二つの公益目的事業に再編し、現在、学芸文化振興事業では研究助成（公募）、研究助成（推薦）、調査研究、サントリー学芸賞、海外出版助成の5事業を、地域文化振興事業ではサントリー地域文化賞、地域文化活動支援の2事業をそれぞれ実施している。

〔学芸文化振興事業〕

1. 研究助成（公募）

広く一般より公募を行うもので、二つの助成プログラムを実施する。「研究助成『学問の未来を拓く』」では、人文学、社会科学の分野において従来の「研究」や「学問」を問い直す知的冒険に満ちたグループ研究活動に対して助成を行う。個人を対象とする「若手研究者のためのチャレンジ研究助成」では、人文学、社会科学の分野において意欲のある若手研究者を支援し、学際的な視野を持った研究者の育成を目指す。

2. 研究助成（推薦）

有識者からの推薦に基づいて行なうもので、日本に在住する将来有望な若手研究者の学術上意義の大きい研究に対して助成を行う。「若手研究者による社会と文化に関する個人研究助成（鳥井フェローシップ）」では日本国籍を有する、もしくは日本語を母語とする若手研究者、「外国人若手研究者による社会と文化に関する個人研究助成（サントリーフェローシップ）」では日本以外の国籍を有する若手研究者を支援する。なお、「外国人若手研究者による社会と文化に関する個人研究助成（サントリーフェローシップ）」は“佐治記念基金”を活用して実施する。

3. 調査研究

社会と文化に関する国際的・学際的な調査研究について、今日の時代に則したテーマを選定し、研究者・資金等の方策を決定し、当財団の下で実施するプログラムで、知的対話の場を提供しつつ日本社会をはじめ世界に対して有意義な知見の発信を目指す。事業の一部は“山崎正和記念基金”を用いて展開する。

4. サントリー学芸賞

政治・経済、芸術・文学、社会・風俗、および思想・歴史の各分野において、活動顕著な新進の研究者、評論家等の独創的、冒険的な業績に対して「サントリー学芸賞」を贈呈する。

5. 海外出版助成

海外における日本理解を促進するため、日本語で書かれた研究業績や日本理解に資する書籍を、英語をはじめとする外国語に翻訳、出版する費用を助成する。

[地域文化振興事業]

1. サントリー地域文化賞

地域の文化の向上に貢献した団体・個人に対して「サントリー地域文化賞」を贈呈する。賞の贈呈をすることで地域文化の活性化をはかり、これを通じた地域社会の発展に寄与していく。

2. 地域文化活動支援

地域で文化活動を行う団体・個人を支援することを目的に、こうした活動に有益な情報を発信し、各地の地域文化に関する活動の相互交流と啓発の場を提供する。

以 上